

大宝幼稚園は、栗東駅近くの住宅地の中にある幼稚園です。自然豊かな園庭ではなく都会の中のごく普通の園庭をフィールドにして、プログラムを作りました。

(対象：年中96名)

1回目は講座、下見とプログラム作り、2回目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。講師 島川武治(しまっち)さん

「自然のあまりない園庭で、自然体験をしたいが、できるのでしょうか？」との問いに、しまっちは「園庭はコンクリートですか？土ではありませんか？空気も空も雑草も石の下の虫も自然です。あたりまえにあるまわりの自然を、視点を変えてみることで、気づくことがたくさんあります。」

また「幼児期に自然体験をすることで、五感を通して自分の感性をみがく 心に残る体験をすることで、地域を好きになり、大切に思う気持ちが養われる 命の大切さを考えていくきっかけができる 自主的に考えて、行動できる力(生きる力)が芽生えるなど、さまざまな力を培います。こうした体験を通じて自然を大切にする大人に成長するでしょう。」と話されました。



下見：ルーペで木肌の観察



下見：園舎の周りを目を閉じて、電車になり歩く

### 「みい~つけた冬の自然」のプログラム

カードの写真と同じ自然物等を、宝探しのようにみつけ、日頃よく通っている所の冬の自然を、あそびを通して観察します。

同じの見つけたよ



こんな寒いところにアオムシなんて、いるのかなー？

アオムシ、見つけたー。

フワフワしているけど、いっしょかなー？

バッタを見つけた。

カマキリのたまご見つけたよ。



綿毛や！フワフワや！



アオムシとバッタは作り物です



「みんなが見つけたひつつき虫は何か知っていますか？ひつつき虫は植物の種です。」「虫が見つけにくかったのはなぜでしょう？虫たちも食べられないように隠れています。生きていくために工夫をしています。」「カマキリのたまごからは300匹くらいの赤ちゃんが生まれますが、ほとんどが食べられたり、病気になったりして死んでしまいます。」「春になったらこの場所もきっと変わっているので、またここに来てみてください。」

## 「園庭の宝石探し」のプログラム

園庭にある石や砂などをルーペで見た後、筒に石を入れて万華鏡を作ります。

きれい！  
ピカッと光  
っている。

かわいい。  
すてき！

きれい！  
川みたい。



こんな小さい石  
が、おっきく見え  
た。すごい！



うわあ～。  
宝石に見える。



石はここに来るまでに、旅をしてきます。とんがった石が、川であそんで小さくなってきます。琵琶湖の近くまで来たときにはもっと小さくなり、変身しながらやってきます。みんなにも大きなお友だちや小さなお友だちがいるように、石にもツルツルの石やでこぼこの石があり、みんなと同じように違いや個性があり、輝いています。

## 「はっぱのいろいろさがし」のプログラム

大好きな葉っぱを探し、その葉  
っぱでカードを作ります。

フワフワの葉っぱ  
やったんやで。  
よく見て、毛がい  
っぱいあるやろ。

おうちに持って  
帰って、お  
かあさんにプ  
レゼントする  
んや。

同じ葉っ  
ぱだから、  
仲間だね。

ツルツル  
の葉っぱ  
がいいな  
ー。

スコップ  
の葉っぱ  
やで。



スコップ  
やなくて、  
魚に見え  
るで。

ぼくだけの  
葉っぱやで。

よく見ると  
ギザギザが  
あるねん。



小さい赤い葉っぱと大きい赤い葉っぱは、赤い葉っぱの仲間だね。ギザギザのある仲間の葉っぱや緑の仲間の葉っぱ、穴のあいた葉っぱの仲間、ふかふかの葉っぱの仲間もあったね。葉っぱにもいろいろな色や形、大きさがあることがわかりました。

環境学習は、自然を大切にすること以外に人権問題にもつながり、役立てることができます。それを子どもたちへのメッセージにすることもできるでしょう。また、これで学習会が終わるのではなく、参加された支援者の方は、園に帰って実践していくことが大事です。そして、園の他の先生や保護者の方に伝えていくという大事な役割があります。